

令和元年度 第1回 評議会 事前資料—④

運営委員会等の報告について

平成31年度運営委員会の主な議題・スケジュール (案)

資料4

山梨支部
評議会開催予定



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30年度 (2018年度) 決算・事業報告書				○								
2020年度保険料率						↑↓						
2020年度事業計画						↑↓						
2020年度予算									↑↓			
インセンティブ制度に係る30年度実績及び今後の制度の在り方								↑↓				

議題等

骨太の方針 概算要求 予算編成

<法改正>
 医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律案
 <各種審議会>
 医療保険部会 (新経済・財政再生計画 改革工程表 2018 等)
 中央社会保険医療協議会 (2020年度診療報酬改定 等)
 働き方の多様化を踏まえた社会保険の対応に関する懇談会 (社会保険の適用拡大 等) など

政府・国の動き

協会けんぽの適用状況

I. 概要

- ・協会けんぽの事業所数・被保険者数・被扶養者数の推移(指数)
- ・協会けんぽ被保険者の平均標準報酬月額・平均年齢・男女比の推移
- ・都道府県別協会けんぽ被保険者等の状況
- ・都道府県別協会けんぽ被保険者の平均年齢・平均標準報酬月額
- ・(参考)協会けんぽ被保険者と厚生年金被保険者との比較①
- ・(参考)協会けんぽ被保険者と厚生年金被保険者との比較②

2

II. 協会けんぽの年齢階級別加入者数割合及び平均標準報酬月額の動向

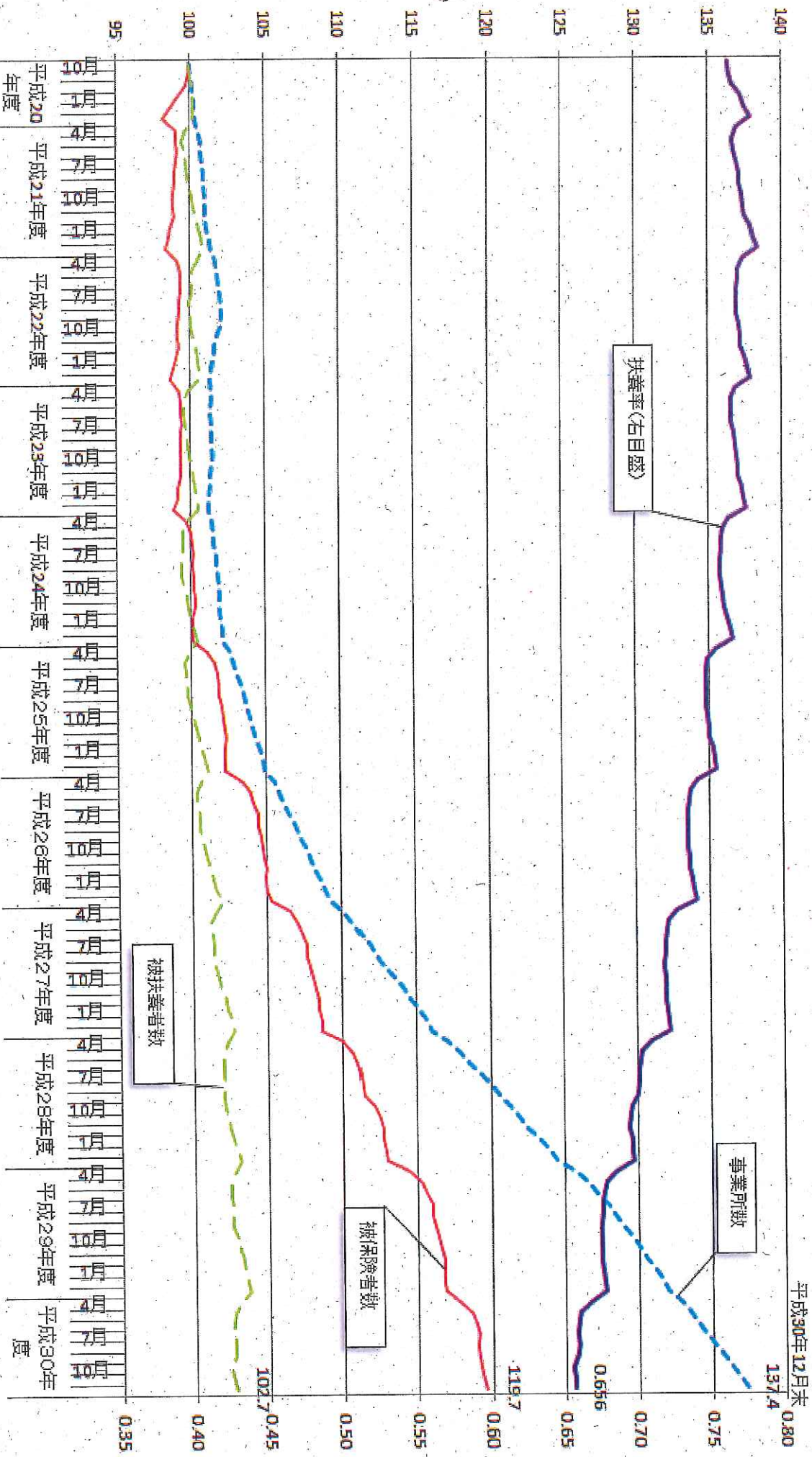
- ・協会けんぽの年齢階級別被保険者数の総人口に占める割合の推移
- ・協会けんぽの年齢階級別被保険者数の総人口に占める割合の変化
- ・協会けんぽの年齢階級別被扶養者数の総人口に占める割合の推移
- ・協会けんぽの年齢階級別被扶養者数の総人口に占める割合の変化
- ・協会けんぽ被保険者の年齢階級別平均標準報酬月額の推移

(参考)医療保険制度別加入者数の推移



I. 概要

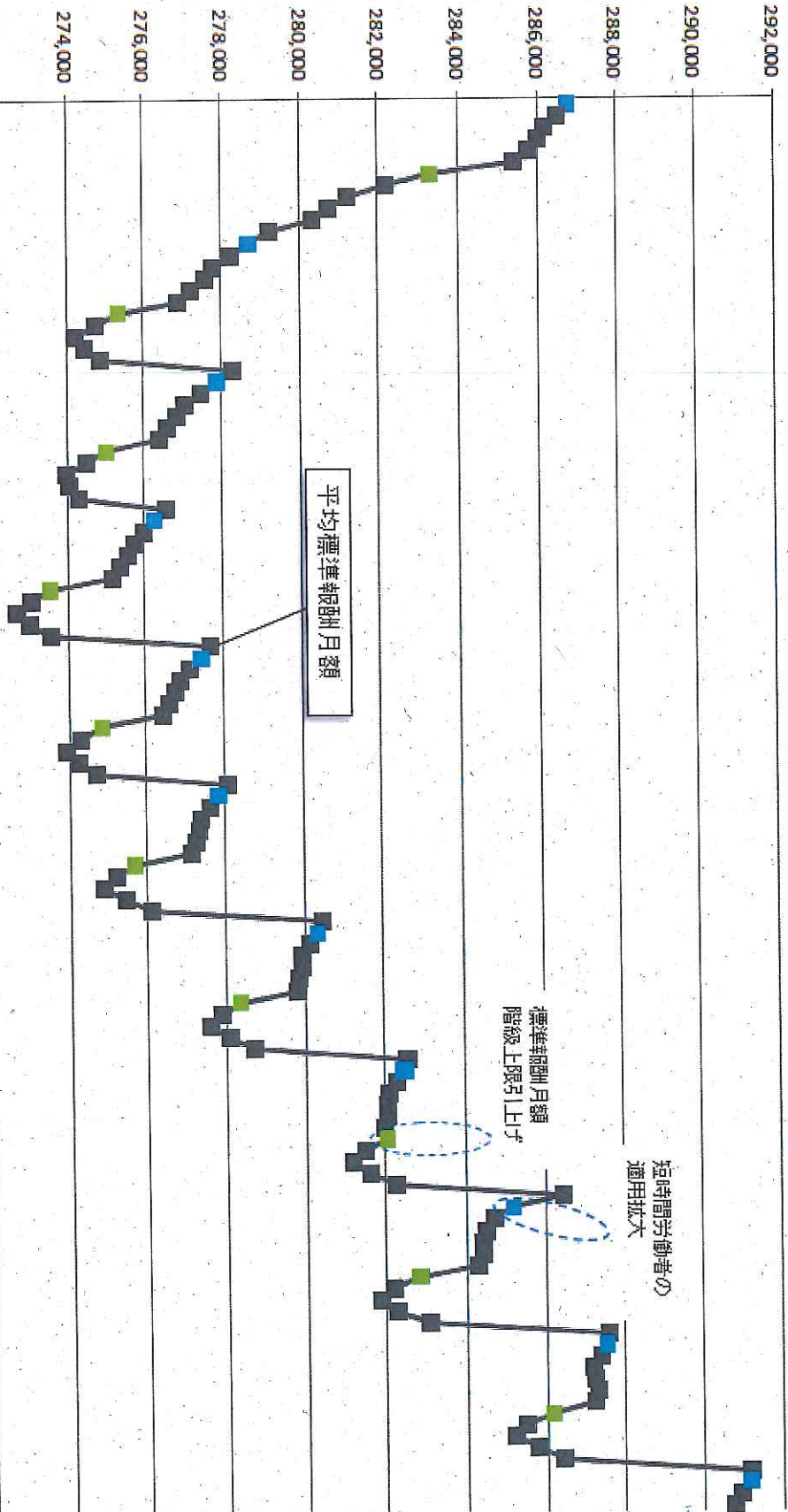
協会けんぽの事業所数・被保険者数・被扶養者数の推移（指数）



※ 平成20年10月末における事業所数、被保険者数、被扶養者数をそれぞれ100とし、その後の数値を指数で示している。

協会けんぽ被保険者の平均標準報酬月額・平均年齢・男女比の推移

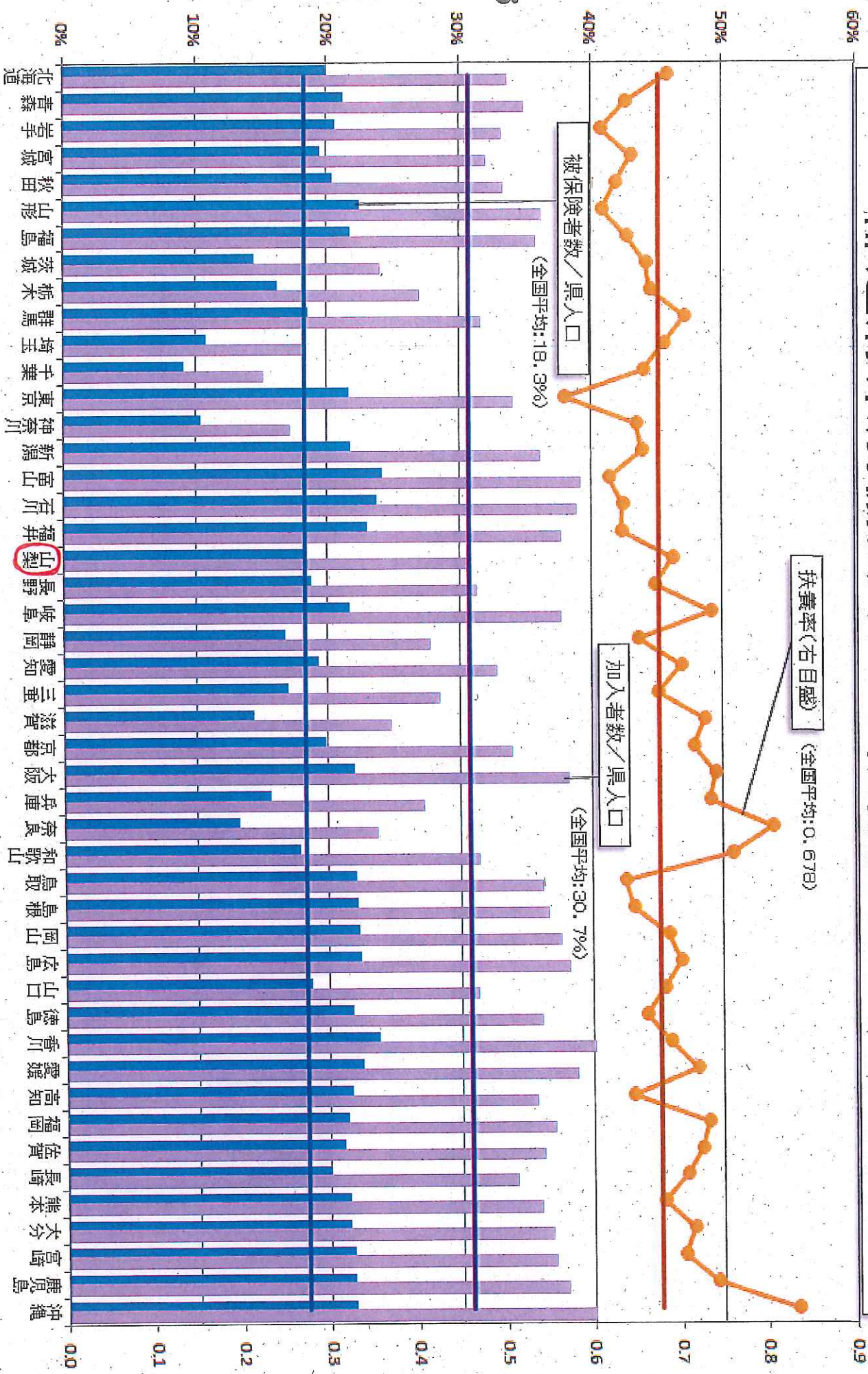
(円)



5

年月末	H20.10	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H30.12
平均年齢(歳)	43.4	43.7	43.9	44.0	44.1	44.3	44.4	44.6	44.8	45.1	45.4	45.5
男女比	0.620:0.380	0.620:0.380	0.618:0.382	0.616:0.384	0.614:0.386	0.612:0.388	0.611:0.389	0.611:0.389	0.610:0.390	0.607:0.393	0.606:0.394	0.602:0.398

都道府県別協会けんぽ被保険者等の状況

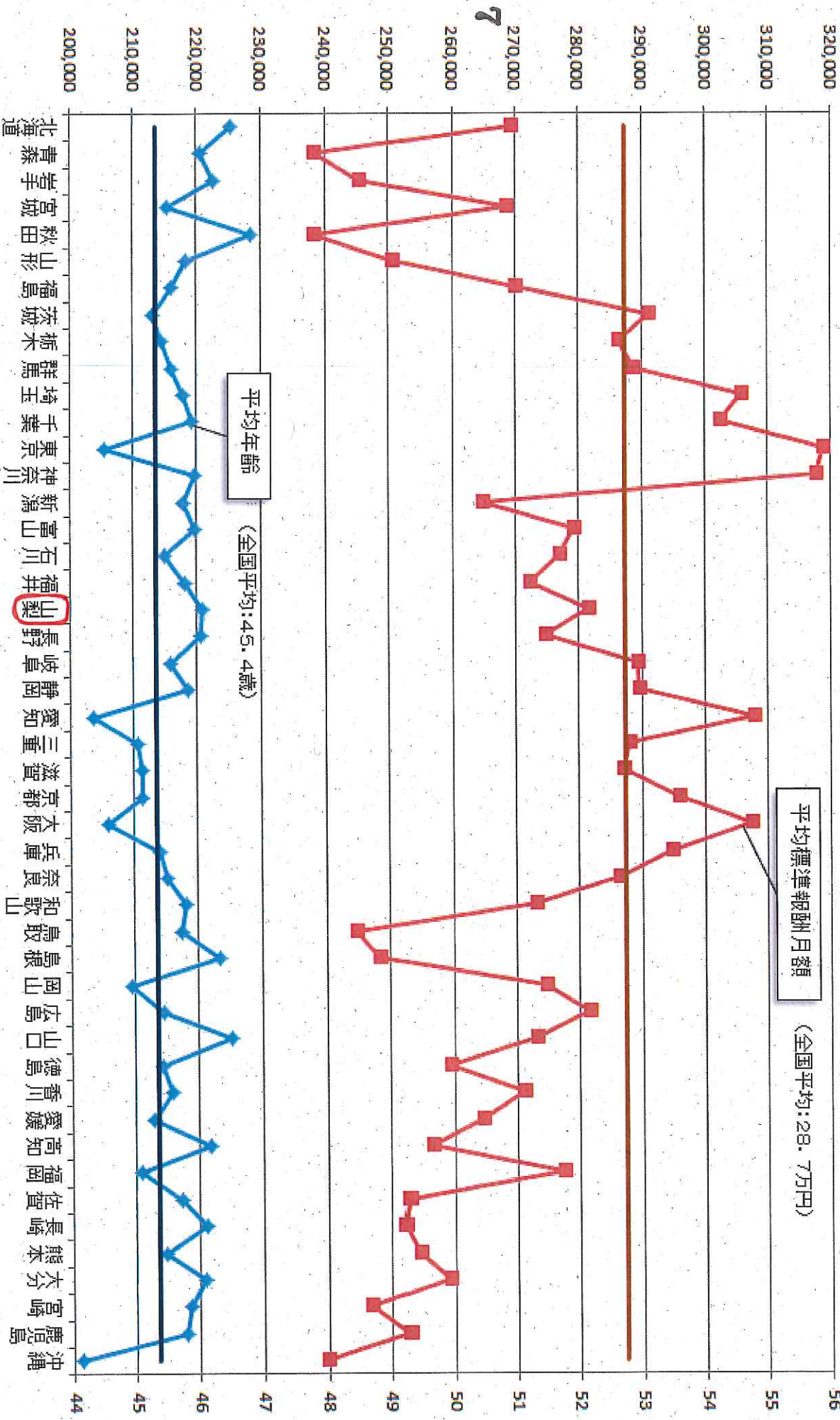


注:協会けんぽの被保険者数、被扶養者数は平成29年度末時点、県人口は平成29年10月1日時点の数値である。

都道府県別協会けんぽ被保険者の平均年齢・平均標準報酬月額

(円)

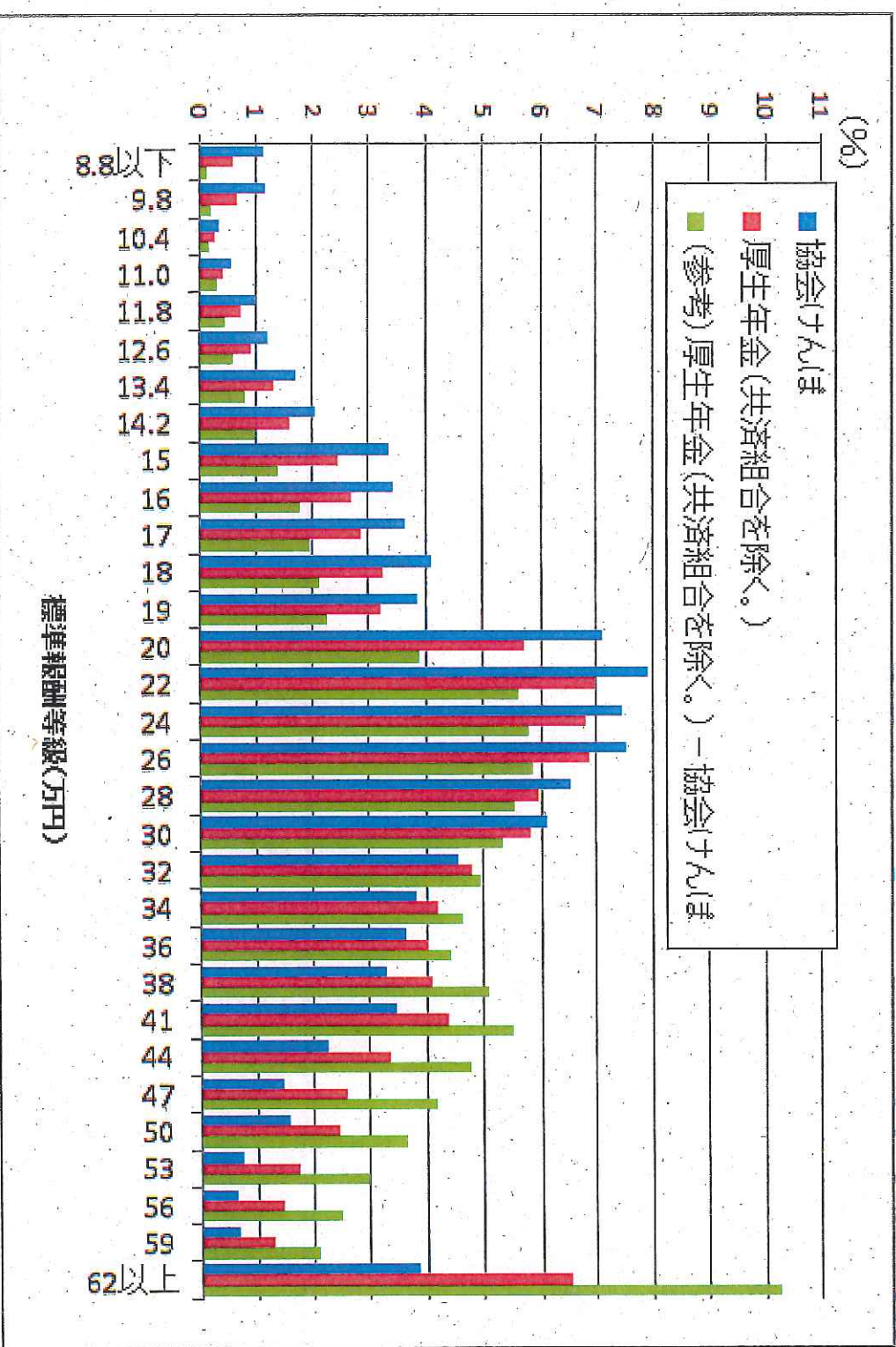
(歳)



注:平成29年度末時点における協会けんぽ被保険者の平均である。

(参考) 協会けんぽ被保険者と厚生年金被保険者との比較①

◆ 協会けんぽ被保険者と、組合健保被保険者を含んだ厚生年金(共済組合を除く。)の被保険者との比較をする。
 図1 標準報酬等級別被保険者数の分布の比較



注:平成30年3月末時点の数値である。
 「厚生年金(共済組合を除く。)」には、国家公務員共済組合、地方公務員共済組合及び日本私立学校振興・共済事業団に係る適用のデータは含まない。
 「(参考)厚生年金(共済組合を除く。)-協会けんぽ」には、70歳以上及び任意継続被保険者は含まない。

(参考) 協会けんぽ被保険者と厚生年金被保険者との比較②

図2 事業所規模別被保険者数の分布の比較

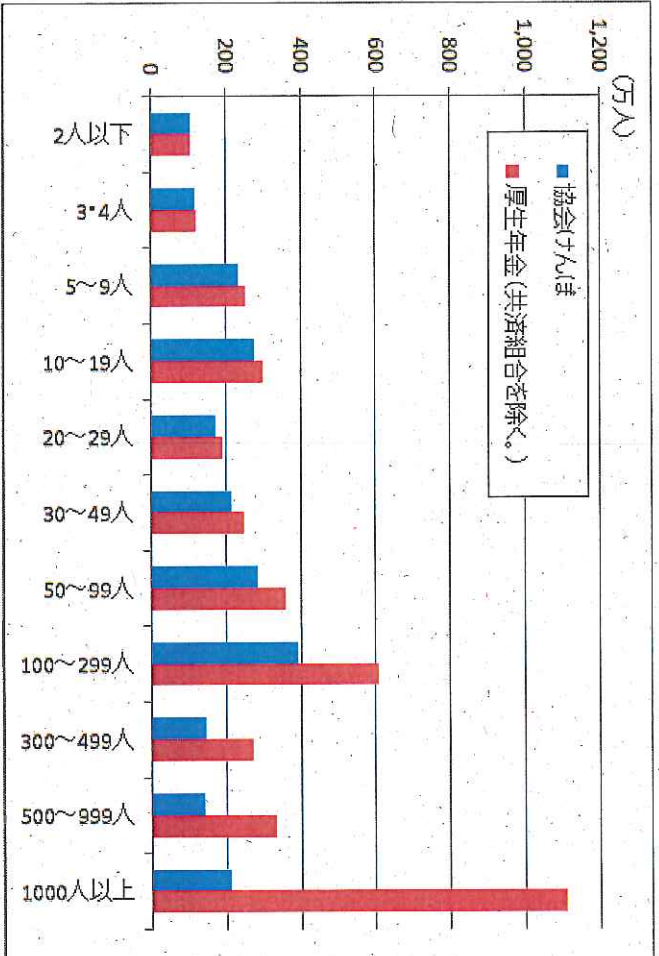


図3 事業所産業界別被保険者数の分布の比較

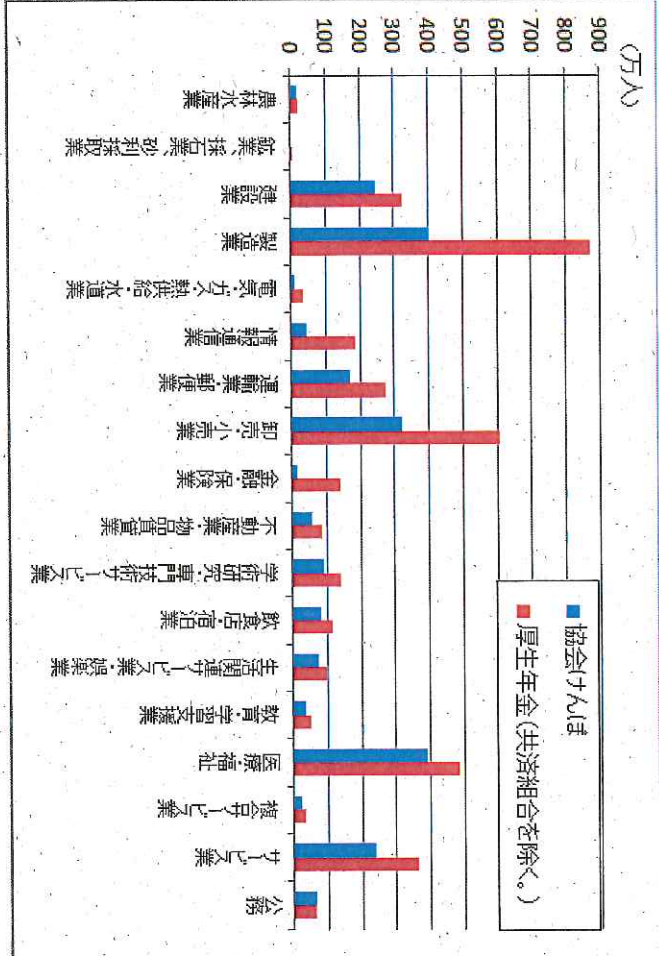


表1 平均年齢の比較

被保険者の平均年齢	協会けんぽ	厚生年金 (共済組合を除く。)
	45.1歳	43.5歳

表2 平均標準報酬月額額の比較

被保険者の平均標準報酬月額	協会けんぽ	厚生年金 (共済組合を除く。)
	28.7万円	31.0万円

表3 男女比の比較

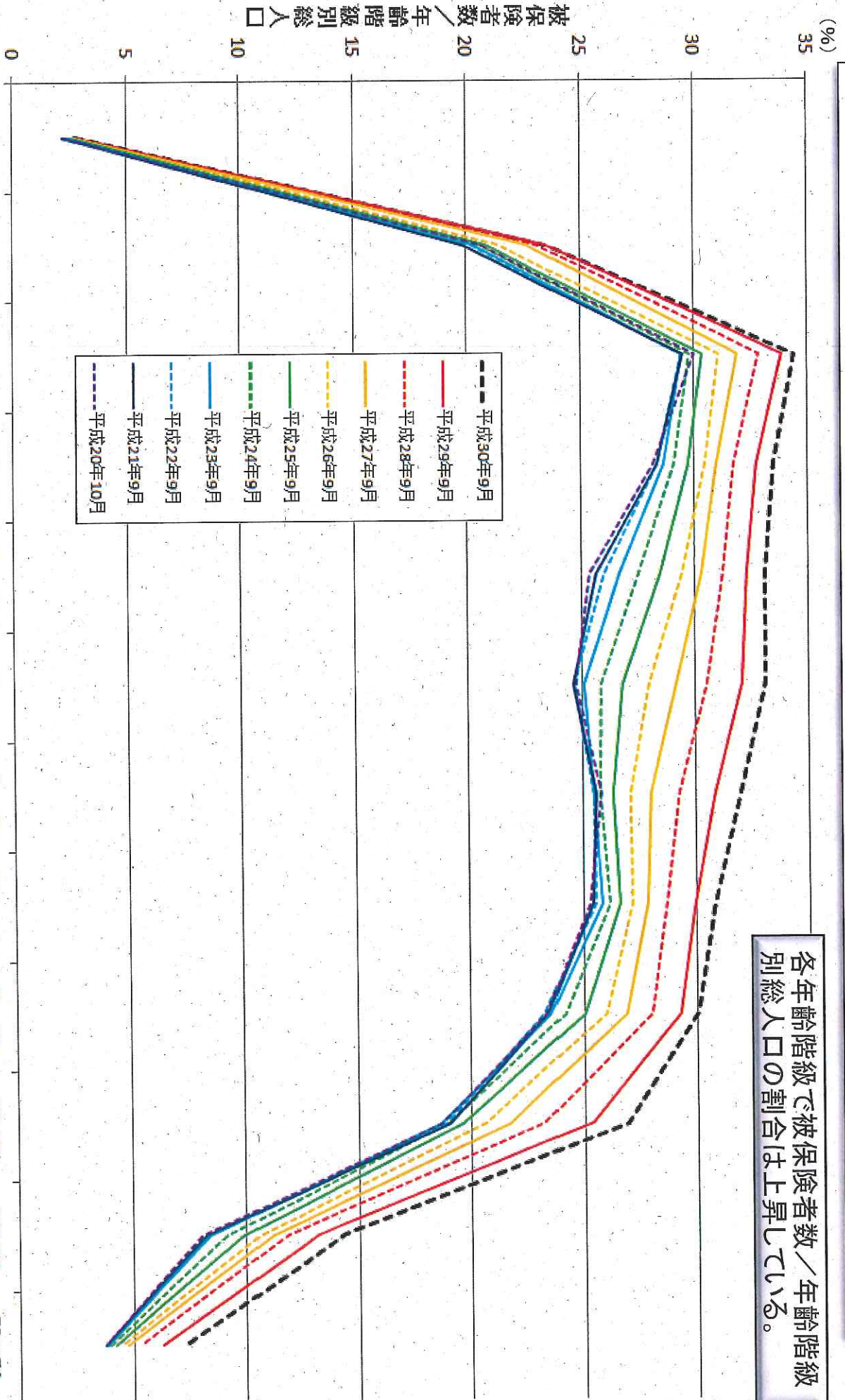
被保険者の性別 (男:女)	協会けんぽ	厚生年金 (共済組合を除く。)
	0.606:0.394	0.624:0.376

注: 図2・3は協会けんぽについては平成30年3月末時点、「厚生年金(共済組合を除く。)」については平成29年9月1日時点の数値、表1は平成29年3月末時点の数値、表2・3は平成30年3月末時点の数値である。
 「厚生年金(共済組合を除く。)」には、国家公務員共済組合、地方公務員共済組合及び日本私立学校振興・共済事業団に係る適用のデータは含まない。

II. 協会けんぽの年齢階級別加入者数割合及び 平均標準報酬月額の動向

年齢階級別にみた協会けんぽの被保険者数／年齢階級別総人口の推移

各年齢階級で被保険者数／年齢階級別総人口の割合は上昇している。

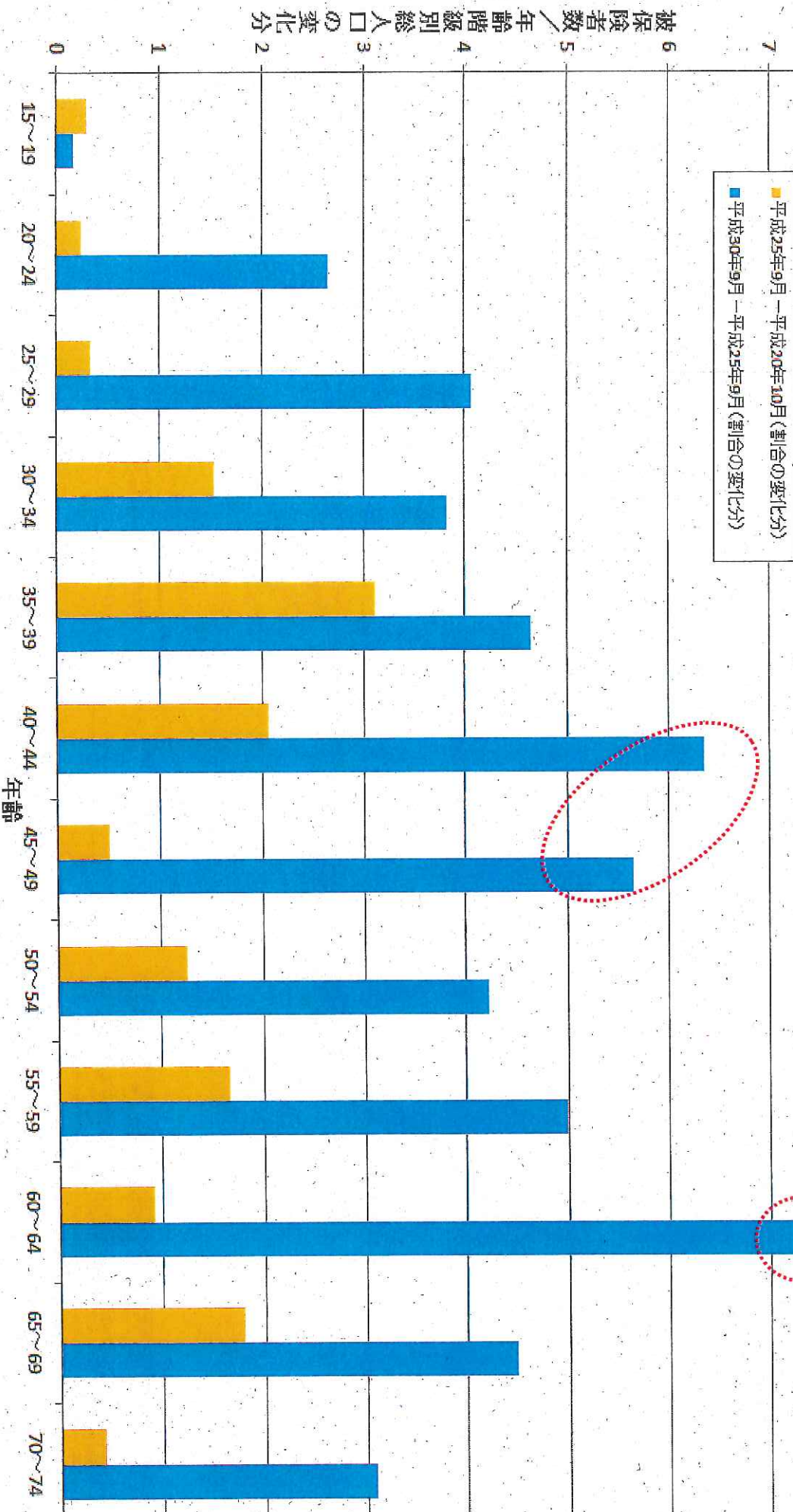


注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

上の図の割合の変化

- ・近年、割合の上昇幅は大きくなっている。
- ・平成25年から平成30年にかけての上昇幅を年齢階級別にみると、40歳台及び60歳台前半が大きい。

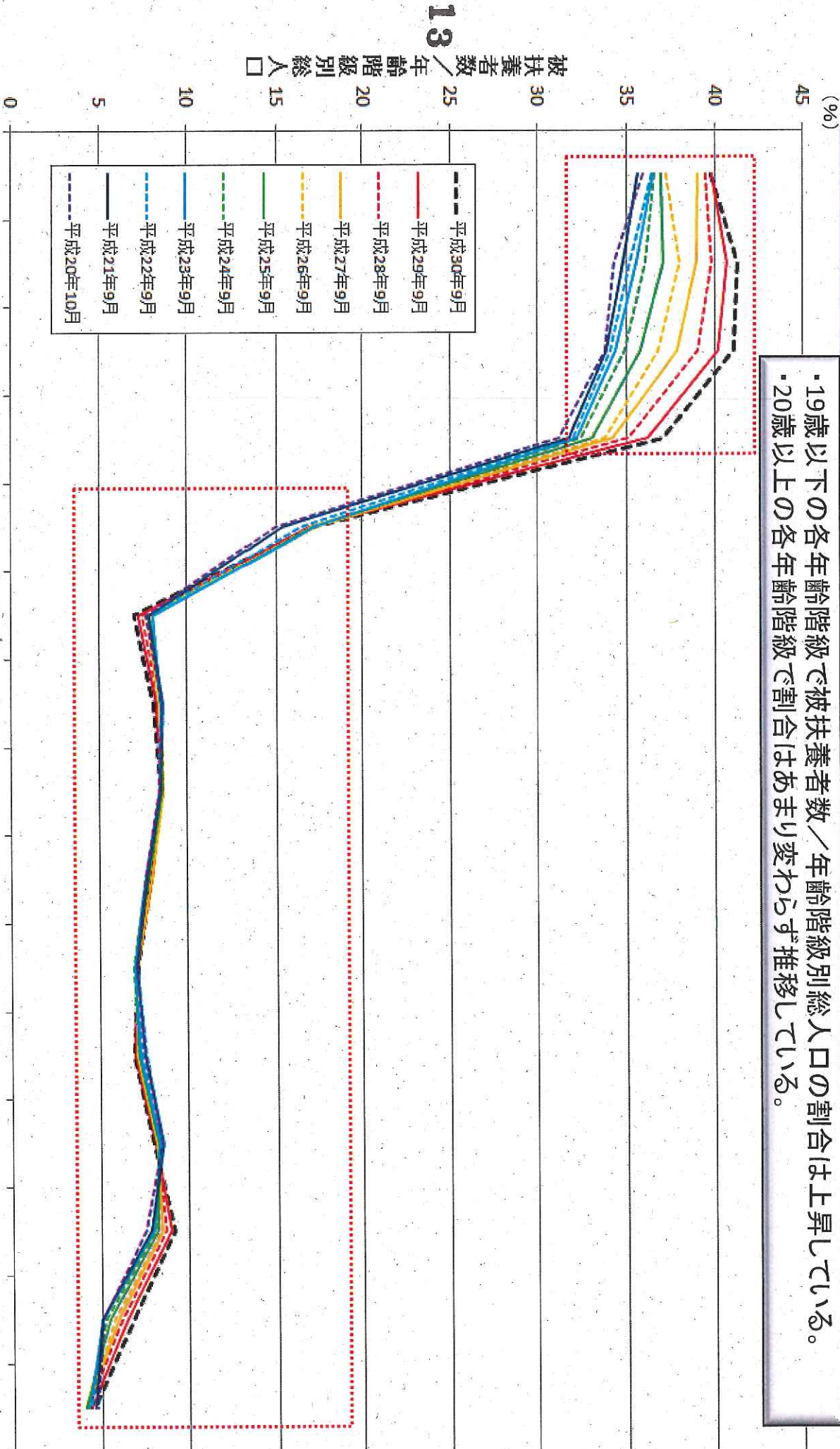
(%ポイント)



注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

年齢階級別にみた協会けんぽの被扶養者数／年齢階級別総人口の推移

- ・19歳以下の各年齢階級で被扶養者数／年齢階級別総人口の割合は上昇している。
- ・20歳以上の各年齢階級で割合はあまり変わらず推移している。

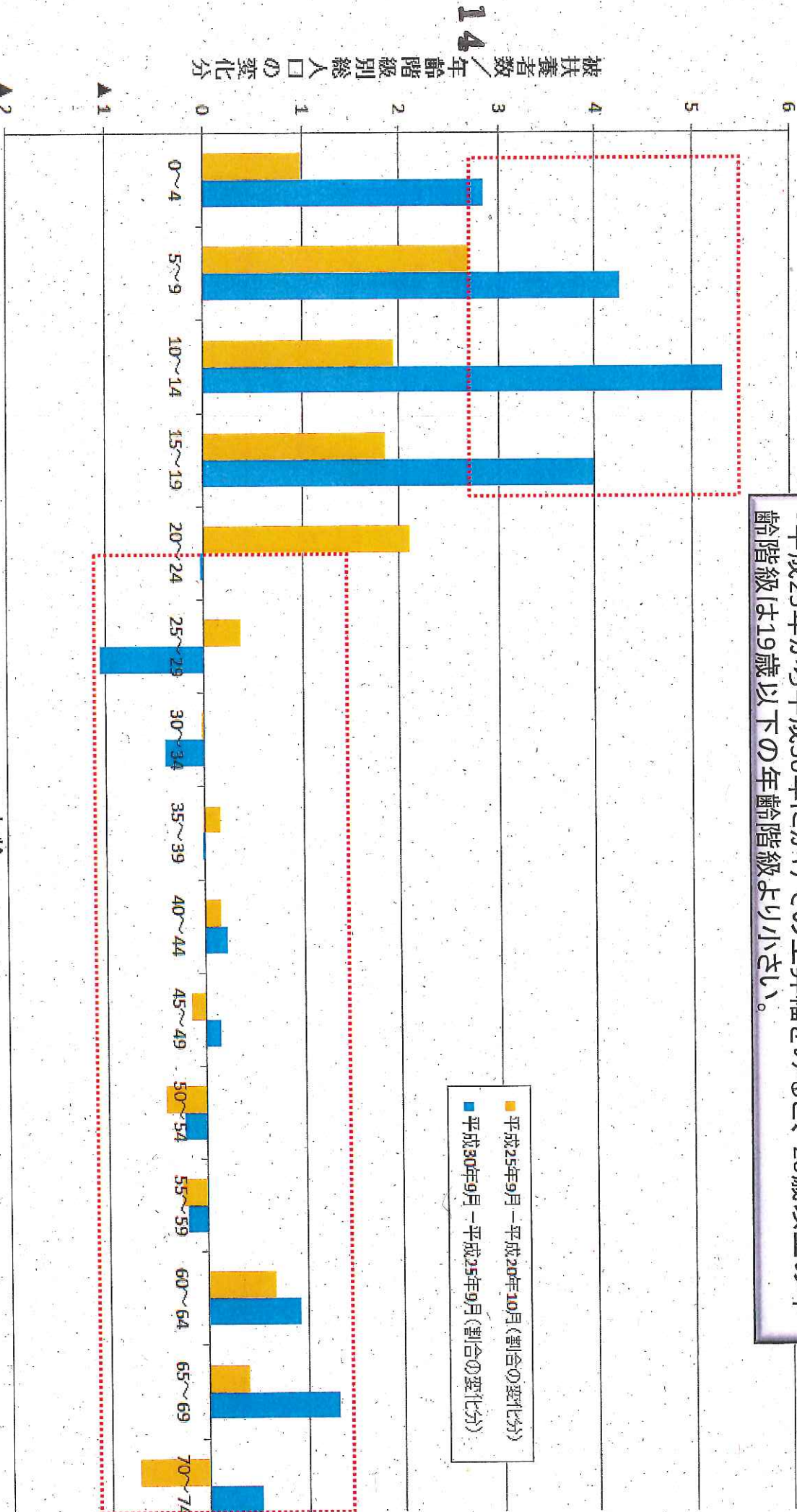


注：総人口は各年10月1日時点の数値である。

上の図の割合の変化

(%ポイント)

- ・近年、19歳以下の各年齢階級で割合の上昇幅は大きくなっている。
- ・平成25年から平成30年にかけての上昇幅をみると、20歳以上の年齢階級は19歳以下の年齢階級より小さい。



被扶養者数 / 年齢階級別総人口の変化分

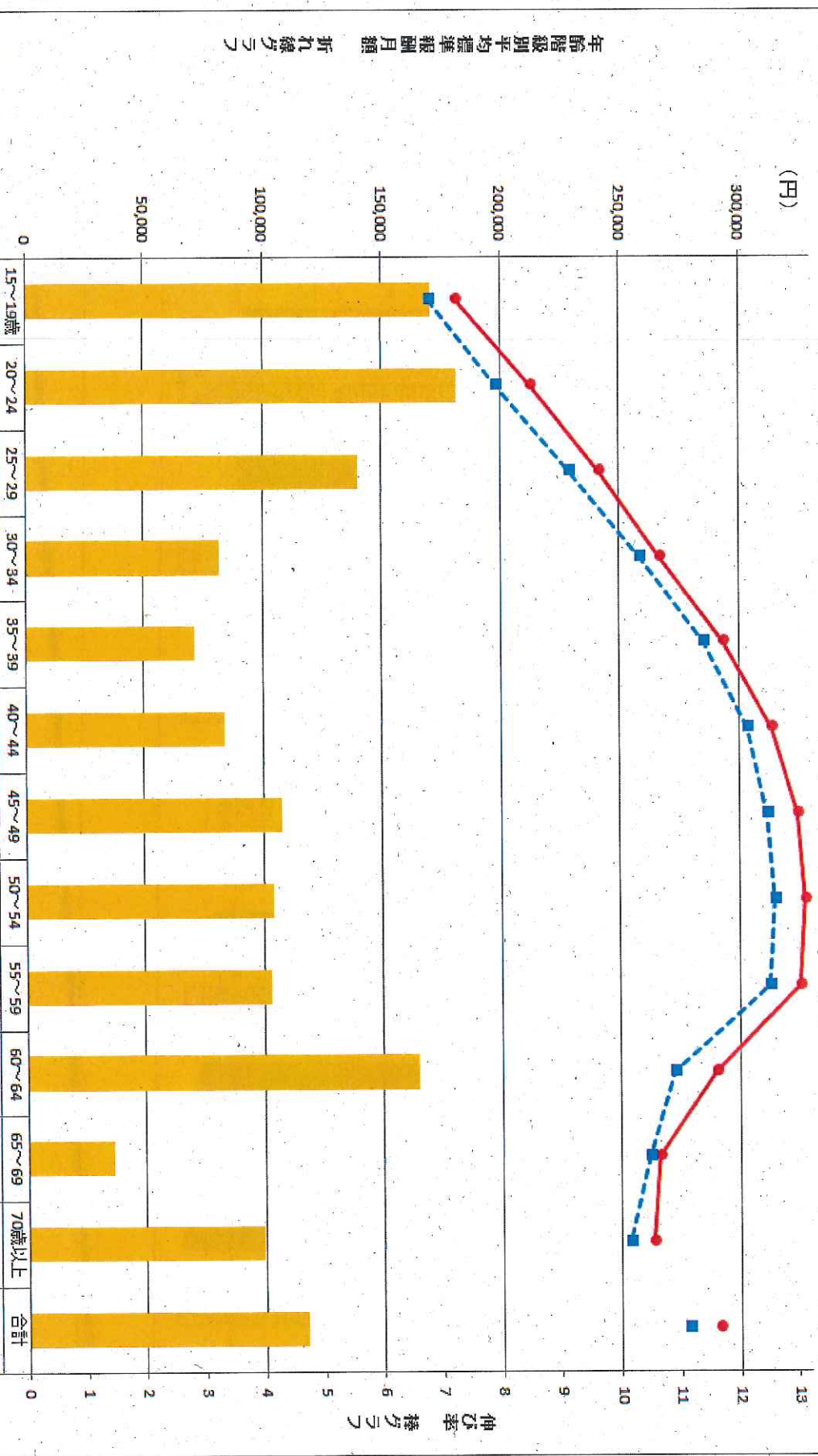
■ 平成25年9月 - 平成20年10月 (割合の変化分)
■ 平成30年9月 - 平成25年9月 (割合の変化分)

年齢

注: 総人口は各年10月1日時点の数値である。

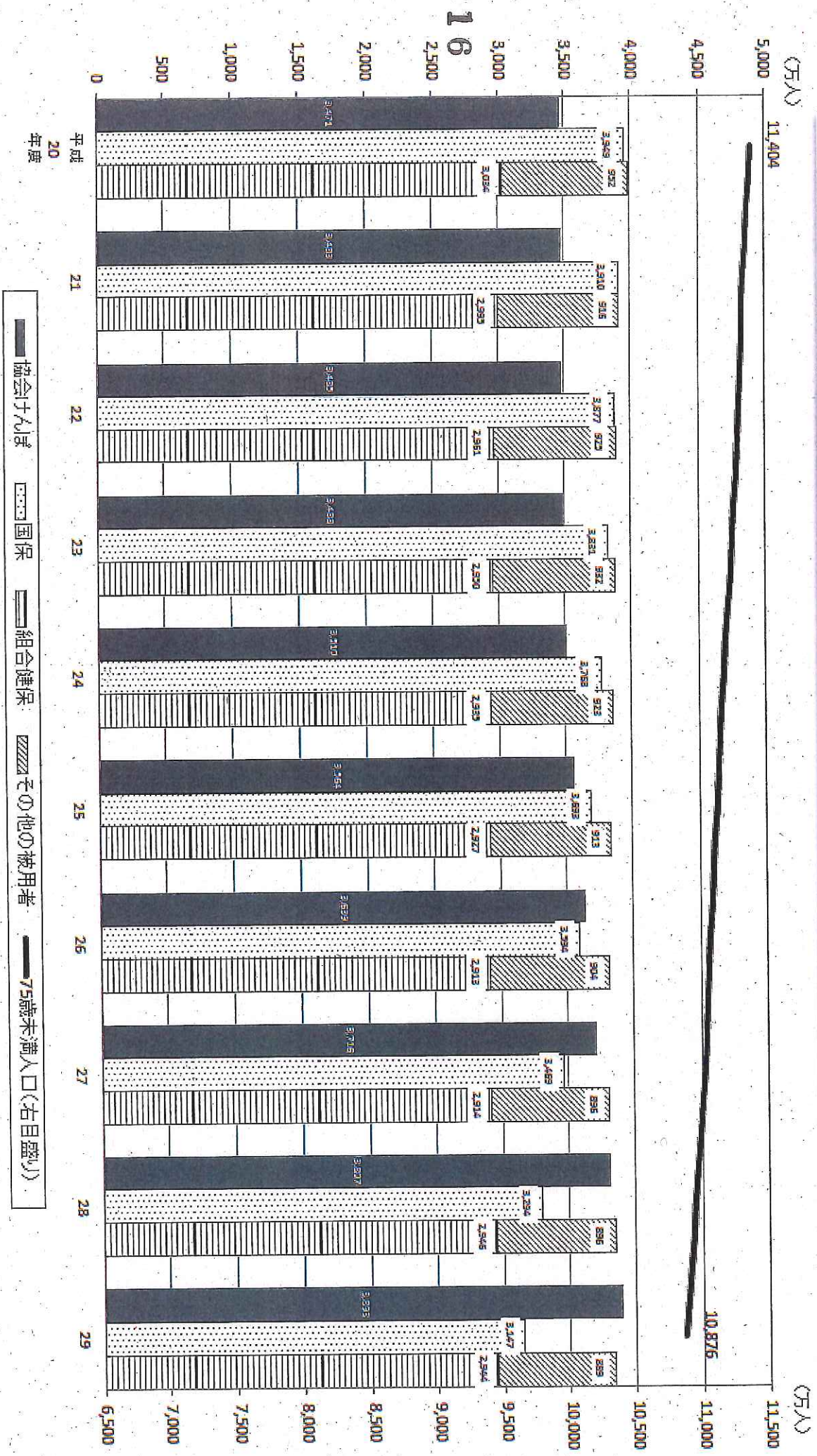
協会けんぽ被保険者の年齢階級別平均標準報酬月額の変遷

20歳以下及び60歳前半の伸び率が高い。



年齢階級	平成30年9月	25年9月	被保険者数(30年9月)	構成割合
15~19歳	169,869	164,792	164,792	0.7%
20~24	198,136	1,487,049	1,487,049	6.3%
25~29	228,767	2,142,511	2,142,511	9.1%
30~34	258,340	2,326,131	2,326,131	9.8%
35~39	285,058	2,548,245	2,548,245	10.8%
40~44	303,485	3,012,590	3,012,590	12.7%
45~49	311,477	3,091,747	3,091,747	13.1%
50~54	314,899	2,577,941	2,577,941	10.9%
55~59	312,794	2,299,200	2,299,200	9.7%
60~64	272,290	2,045,181	2,045,181	8.6%
65~69	262,079	1,348,890	1,348,890	5.7%
70歳以上	253,449	605,859	605,859	2.6%
合計	278,077	23,650,078	23,650,078	100.0%

(参考) 医療保険制度別加入者数の推移



注1. 協会けんぽ、国保及びその他の被用者は年度末現在の加入者数、75歳未満人口は翌年度4月1日現在の人口(総務省統計局「人口推計」の総人口)を表す。
 注2. その他の被用者は船員保険及び共済組合の合計である。ただし、共済組合は前年度末現在の数値を計上している。

保険財政に関する重要指標の動向